



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報は厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名

聖路加国際病院 病理診断科 三田尚子

【研究責任者】

聖路加国際病院 病理診断科 三田尚子

当法人で子宮頸部細胞診検査を受けられた方を対象とした

診断支援装置の精度管理に関する研究

1.研究の対象

2021年4月～2023年3月までに当法人（聖路加国際病院・聖路加国際病院 附属クリニック予防医療センター・聖路加メディローカス）で子宮頸部細胞診検査を受けられた方

2.研究の目的・方法

子宮頸部細胞診検査は、細胞検査士による初回スクリーニングで陰性と判定された症例のうち、精度管理を目的として10%を再度スクリーニングすることが臨床細胞学会により推奨されています。当院では、自動スクリーニング支援装置を導入して、初回スクリーニングで陰性と判定されたすべての症例を測定し、結果報告を行っております。今回、自動スクリーニング支援装置で検出された偽陰性の症例を確認することで、自動スクリーニング支援装置の有用性について検討したいと考えております。

なお、この調査では通常の医療行為ではなく、診察録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。既に報告されている結果を用いる為、判定結果に影響はありません。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2026年3月31日までの予定です。該当データの利用開始は、2024年8月26日を予定しております。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

- 情報：ID・性別・年齢・既往歴・前治療の有無・病理細胞診断結果
- 試料：細胞診検体（子宮頸部細胞診標本）